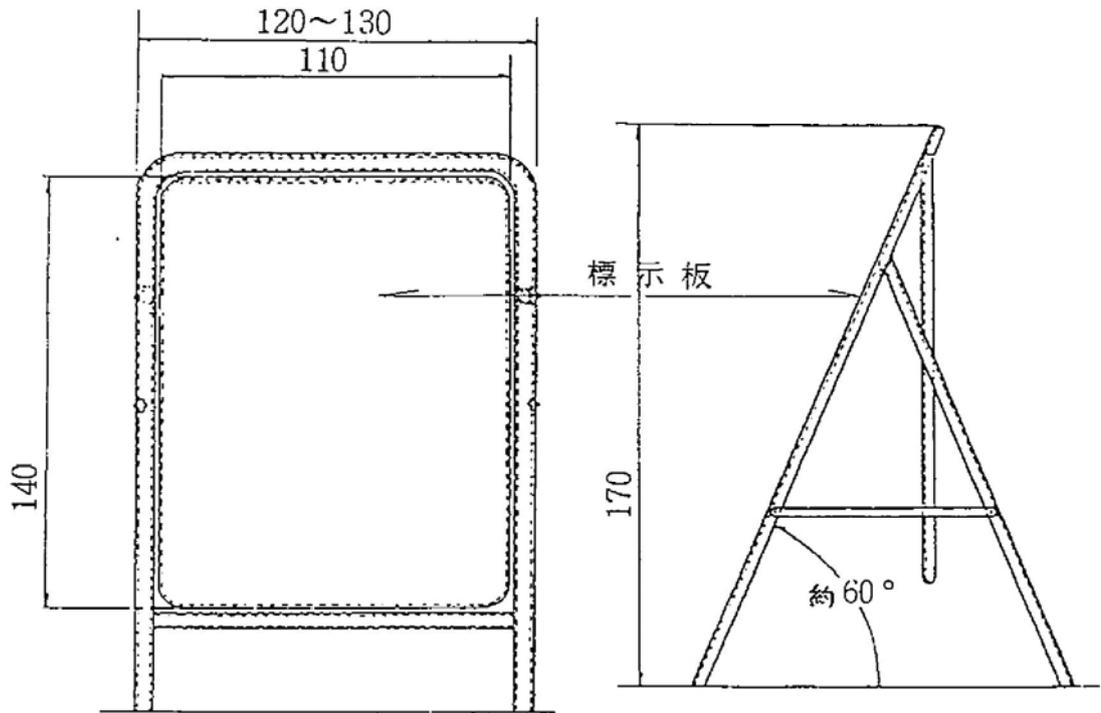


(参考4) 設置方法の一例



2 保安施設

(1) 保安施設等の設置目的と様式

保安施設等の設置目的

名称	記号	交通の誘導	立入防止	場所の明示予告	交通指導	その他	摘要
工事用照明灯	☉			○			
保安灯	●	○	○	○			
歩道柵	○—○		○	○			
バリケード	≡≡≡		○	○			
×	×	×	○	○			
セフティーコーン	○	○		○			

名 称	記 号	交通の誘導	立入防止	場所の明示予告	交通指導	その他	摘 要
保 安 要 員		○	○		○	○	
交 通 整 理 員		○			○		手旗(赤・白) 又は合図灯
作 業 車 (又はこれに代行するもの)			○				
道路工事中 (213)	①			○			
車線数減少 (211)	②			○			
二方向交通 (212の2)	③			○			
指定方向外進行禁止 (311-E)	④	○			○		
徐 行 (329)	⑤				○		
工 事 標 示 板	⑥					○	様式1, 2
お 願 い	⑦					○	
ま わ り 道	⑧	○					様式3
〃	⑨	○					様式4
方 向 指 示 板	⑩	○					
電 光 標 示 板	⑪	○					
工 事 内 容	⑫					○	
〃	⑬					○	
この先信号機あり	⑭			○			
片側交互通行	⑮	○			○		
信 号 機	⑯				○		
段 差 予 告 板	⑰			○			
歩 行 者 案 内 板	⑱		○				
停 止 線 標 識	⑲					○	
工 事 中 標 識	⑳			○			

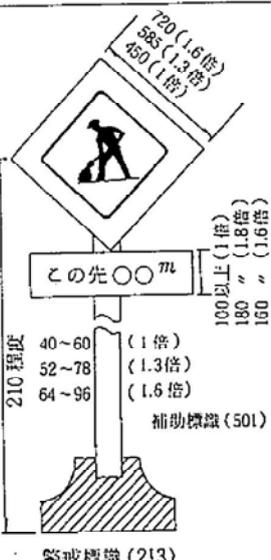
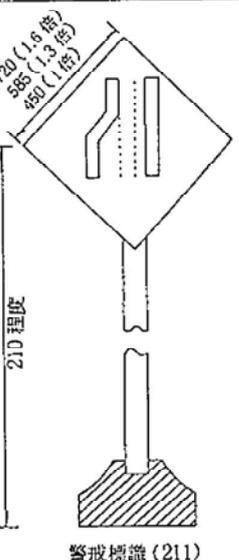
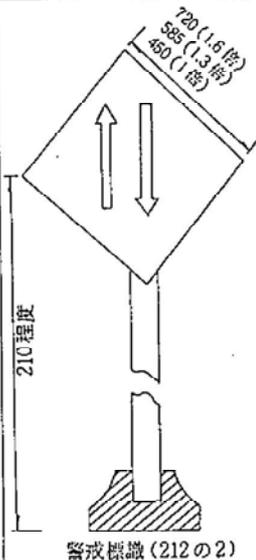
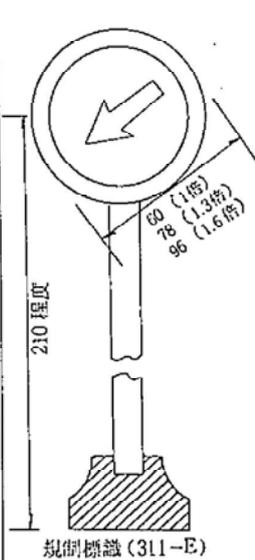
保安施設等標準様式図

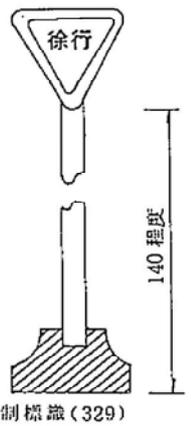
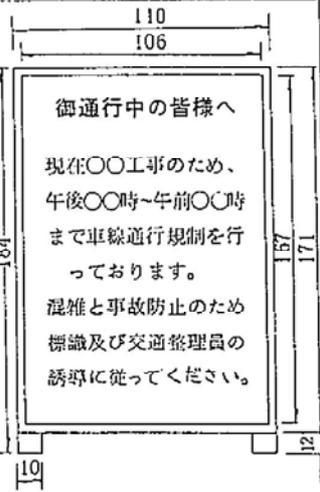
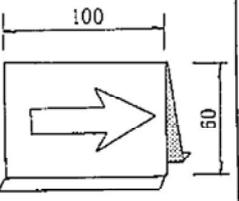
名称 記号	保安灯	歩道柵
様式および標準寸法 (単位cm)	<p>黄または赤</p> <p>100程度</p> <p>スズラン式</p> <p>4m以下</p> <p>発光部分</p> <p>チューブ式</p> <p>色は黄または赤とする。</p>	<p>100程度</p> <p>ロープかけ</p>
設置位置等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 視認距離、夜間 150 m 以上の効果をもつものであること。 2. 保安灯の設置間隔は 4 m 以下とする。 3. スズラン式及びチューブ式の吊り間隔（固定位置）は 8 m 以下とする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 柱およびロープは黒黄の縞をほどこすものとする。 2. ロープの外径は 12mm 以上とする。 3. 柱間隔は約 3 ~ 5 m とする。

— 415 —

名称 記号	バリケード	セフティーコーン等
様式および標準寸法 (単位cm)	<p>120程度</p> <p>80程度</p> <p>ガードフェンス式</p> <p>120程度</p> <p>80程度</p> <p>120程度</p> <p>80程度</p>	<p>70程度</p>
設置位置等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 風等で転倒の恐れがある場合は、砂袋その他の方法により固定すること。 2. バリケードの使用区分は、使用場所・使用目的に応じて使いわけること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現場状況に応じてセフティーコーンまたはカラーコーンとする。 2. 夜間はカラーコーンは内照式とする。

— 416 —

名称 記号	道路工事中 ①	車線数減少 ②	二方向交通 ③	指定方向外進行禁止 ④
様式および 標準寸法 (単位cm)				
設置位置等	<ol style="list-style-type: none"> 拡大率は1.6倍を標準とするが場所によっては1倍又は1.3倍を用いることができる。なお標示板は反射式又は内照式とする。 設置位置は50m, 100m, 100~500m手前とし必要に応じて設置する。 	<ol style="list-style-type: none"> 左に同じ 設置位置は車線数の減少始点の手前までの地点で必要に応じて設置する。 	<ol style="list-style-type: none"> 左に同じ 二方向交通となる地点の手前までの地点で必要に応じて設置する。 	<ol style="list-style-type: none"> 左に同じ 標示板の矢印の示す方向以外の方向への車輛の進行を禁止する場所の前面で必要に応じて設置する。

名称 記号	徐行 ⑤	工事標示板 ⑥	お願い ⑦	方向指示板 ⑩
様式および 標準寸法 (単位cm)				
設置位置等	<ol style="list-style-type: none"> 拡大率は1.6倍を標準とするが場所によっては1倍又は1.3倍を用いることができる。なお、標示板は反射式又は内照式とする。 設置位置は交通量および現場の状況により考慮すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 大きさ等については様式-1, 様式-2による。 	<ol style="list-style-type: none"> 御通行中の皆様へは赤書きとし、他は白地に黒文字とする。 設置位置は工事標示板の近くで現場の状況により必要に応じて設置する。 記載内容は発散時間、作業時間、迂回路等通行規制の内容を表示するものとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 色は赤地で矢印は白とする。 全面反射式とする。 車線変更を行うため、バリエード等の前面に設置する。 設置数、及び設置角度は現地の状況により決定するものとする。

名称 記号	電 光 標 示 板 ⑪
様式および 標準寸法 (単位cm)	<p>黄色回転灯 (レモンイエロー)</p> <p>黄</p> <p>黒</p> <p>赤</p> <p>道路、水道、ガス等</p> <p>乳白</p> <p>事業主体者名</p> <p>緑</p> <p>(鹿児島県〇〇土木事務所、東京ガス)</p> <p>緑</p> <p>50 33 17</p> <p>35.8</p> <p>67.7</p> <p>30</p> <p>30 6</p> <p>15 15 5</p> <p>15</p> <p>75.5</p> <p>20-30</p> <p>179</p>
設置位置等	<p>1) 内部照明とし矢印は順次点滅させる構造とする。</p> <p>2) 電光標示板の機種選定については、原則として大型のものを使用することとするが、現地の状況及び工事規模等により適宜選択すること。</p>

名称 記号	工 事 内 容 ⑫	この先信号機あり ⑬
様式および 標準寸法 (単位cm)	<p>70</p> <p>100</p> <p>事業主体者名</p> <p>例</p> <p>応急修理中 工事中 清掃中</p>	<p>50 - 60</p> <p>140</p> <p>この先50m</p> <p>信号機あり</p>
設置位置等	<p>1 字体はゴシック体とし、地色は白色、文字は事業主体者名を青色、工事中等は赤色とする。</p> <p>2 標示板は反射式とする。</p> <p>3 標識車として使用するときは作業車等の後部に設置し、黄色回転灯も設置する。</p>	<p>1 文字はゴシック体とし、緑線は青色、文字は赤色、地は白色とする。</p> <p>2 設置位置は50m、100m、100~500m手前を原則とし交通量等現場状況に応じて適宜設置する。</p> <p>3 標示板は反射式とする。</p>

名称 記号	片側交互通行 (15)	工事用信号機 (16)	段差予告板 (17)
様式および 標準寸法 (単位cm)			
設置位置等	<ol style="list-style-type: none"> 1 一字の大きさは150mmとし、字体はゴシック体とする。 緑線は青色、文字は赤色、地は白色とする。 2 現場の状況により必要に応じて設置する。 3 標示板は反射式とする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 信号表示面が円形となっている表示面の直径は15cmから45cmまでとする。 2 背面板を設ける場合にあってはその図柄は巾10cmの縞模様とし、その色彩は緑と白又は黄と黒とする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 50m、100m、150m手前に設置する。 2 夜間は内部照明又は反射式とする。 3 字体はゴシック体とし、緑線は青色、文字は赤色、地は白色とする。 4 現場状況により必要に応じて設置する。

名称 記号	歩行者案内板 (18)	停止線標識 (19)	工事中標識 (20)
様式および 標準寸法 (単位cm)			
設置位置等	<ol style="list-style-type: none"> 1 夜間は内部照明又は反射式とする。 2 現場の状況により必要に応じて設置する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 文字の大きさは25cmとし線の太さは2cm、字体はゴシック体とする。 2 地は青色、文字は白地のスコッチテープを用いる。 3 現場の状況により必要に応じて設置する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 夜間は適切な照明を施すとともに、確認距離200m以上の効果をもつ点滅式黄色回転灯を板上に設置すること。

